

# 教師用 RCRT を活用した児童生徒理解

教育実践高度化専攻 児童発達支援コース 生徒指導・教育相談系

氏名 福岡 功二郎

教師用 RCRT の継続的な実施による日々の自身の視点の確認と他教員との子どもを見る視点の交流を通して、教師の子どもを見る視点が多面化・多角化するかどうかを検討した。対象教師 1 名の変化を追い、以下のことが明らかとなった。(1)教師用 RCRT は自身の視点を認識し、現況を整理するきっかけになる。ただし、教師用 RCRT の結果を解釈する際にも、他教師との交流から子ども理解の改善を図り、新たな視点を得ようとする際も、既に持っている視点とは異なる視点からの解釈や、情報交換の際の姿勢の変換を、第三者が具体的に促す必要がある。(2)こうした第三者による働きかけを伴うことで、教師用 RCRT の継続的な実施や他教師との交流は教師の視点の多面化・児童理解を促進しうる。(3)教師の視点の変化によって指導方針が変化し、そのことが児童との関係や児童の学級適応感の改善につながることを期待される。